

令和3年度「東京都環境影響評価審議会」第一部会（第6回）議事録

■日時 令和3年9月21日（火）午前10時33分～午前11時02分

■場所 WEBによるオンライン会議

■出席委員

柳会長、齋藤第一部会長、荒井委員、奥委員、小林委員、高橋委員、堤委員、平林委員、水本委員、森川委員、横田委員

■議事内容

1 環境影響評価書案に係る質疑及び審議

（仮称）赤坂二・六丁目地区開発計画【2回目】

⇒ 前回に引き続き、選定した項目について、質疑及び審議を行った。

令和3年度「東京都環境影響評価審議会」

第一部会（第6回）

速 記 録

令和3年9月21日（火）

Webによるオンライン会議

(午前 10 時 33 分開会)

○下間アセスメント担当課長 時間になりましたので、これから第一部会のアセス審議会を始めさせていただきます。委員の皆様、おはようございます。本日は御出席頂きありがとうございます。本日の進行はアセスメント担当課長の下間が務めます。よろしくお願ひします。

それでは、本日の委員の出席状況について事務局から御報告申し上げます。現在、委員 12 名のうち 11 名の御出席を頂いており、定足数を満たしております。

これより、令和 3 年度第 6 回第一部会の開催をお願いいたします。

なお、本日は傍聴の申出がございます。部会長、よろしくお願ひいたします。

○齋藤部会長 会議に入ります前に、本日は傍聴を希望する方がおられます。なお、本会議の傍聴は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Web 上での傍聴のみとなっております。

それでは、傍聴人の方を入室させてください。

(傍聴人入室)

○齋藤部会長 傍聴の方は、傍聴案件が終了しましたら退室されても結構です。

ただいまから第一部会を開催いたします。

本日の会議は、次第にありますように、「(仮称)赤坂二・六丁目地区開発計画【2 回目】」環境影響評価書案に係る質疑及び審議、その他となります。

○齋藤部会長 それでは、次第 1 の「(仮称)赤坂二・六丁目地区開発計画【2 回目】」環境影響評価書案に係る質疑及び審議を行います。

本日の進め方ですが、最初に事務局から前回の審議内容を説明していただきます。説明の後、事業者の回答の再確認を含め、事業者に対する質疑を行います。質疑が終了しましたら、事業者の退席後、次回の総括審議に向けて各委員より総括審議事項の候補となる事項を上げていただきたいと思います。御協力のほど、よろしくお願ひいたします。

それでは、事務局から資料の説明をお願いします。

○下間アセスメント担当課長 事務局から資料の説明をいたします。

それでは、お手元の資料 1 を御覧ください。資料 1 は、前回の部会における審議の内容を整理したものとなります。各委員からの指摘、質問事項等を環境影響評価項目ごとに、「大気汚染」「騒音・振動」「日影」「風環境」「景観」「その他」の順序で取りまとめており、合計 10 件、環境影響評価項目以外の「その他」が 5 件となりました。

指摘、質問事項等は取扱い欄に前回の日付として 8/17 と記載しております。

前回の指摘等の項目は3ページの「大気汚染」番号1。3ページから4ページ「騒音振動」番号1、2、3。4ページから5ページ「日影」番号1。5ページから6ページ「風環境」番号1、2、3。6ページから7ページ「景観」番号1、2。8ページから9ページ「その他」となります。

要約して内容をご説明いたします。

「大気汚染」に関しては、工事中の二酸化窒素の予測が環境基準を超えているため最新の排出ガス対策の機械をどの程度使用、導入できるかとの質疑があり、施工者に最大限の協力をお願いしていく姿勢で臨んでいきたいとの事業者回答がありました。

「騒音・振動」に関しては、番号1として、評価書案の修正指摘があり、評価書を修正する旨の事業者回答がありました。

番号2として、工事用車両の走行ルートについて。現況でも騒音レベルが超過しているところだが、例えば赤坂通りを通らせ、住宅地域が多いルートを考慮するように指摘があり、周辺の住居環境等、これから実際の運用の中でも細心の注意を払って動線については調整していく旨の事業者回答がありました。

番号3として、工事完了後の関連車両の走行に伴う騒音振動について質疑が行われました。

「日影」に関しては、地点Aと地点Bについて場所の説明や選んだ理由、及びまた地下鉄駅の出入口について質問があり、事業者から、選定理由及び場所の説明がありました。

「風環境」に関しまして、番号1として西側の敷地境界線では、建設前は領域Aに当たる評価から、建設後には領域Bに当たる評価となっており、風速はおそらく増えているにもかかわらず、対策を行っていないように見て取れるが、対策は考えていなかったのか、教えていただきたいとの質問に対し、領域Cが出現している部分が主に東館の北側と南側に出ている。風環境が芳しくないところをいかに押さえていくかというところを風洞実験でシミュレーションしたとの回答でした。

番号2について、124番、125番は建設後の対策前と対策後でほぼ同じであり、今の対策で十分かどうか気になる。植栽のみだけではなく、建物の上に庇を付けるとか、フェンス等、植栽以外のものも有効に使った計画を立てるようにとの指摘に対し、東館の広場に庇を掛けることや、建物の形状も、鋭角になって風の流が速くならないようにしていくといった検討をしている。引き続き、どういったことができるかを考えながら設計を進めていくとの事業者回答でした。

番号3として、地下街から地上へつなぐところまでも含めて評価しているか。建設後に植

栽配置を変えること、または実質計測を行うなど、後からも対策を組めるのではないかと思うが、地下街から地上につながる場所の風環境についてどのような考えかとの質問に対し、現状分析しておらず、大きな風環境問題はないと推測しているが、事後調査等により風環境を見ていくので、よくない状況であればどのような対策ができるか、引き続き検討していくとの事業者回答がありました。

「景観」に関して番号1ですが、評価書案の形態率変化の図について植栽の効果の捉え方が異なっている部分について質疑が行われました。

番号2では、植栽の幅員と質とについて、既存の植栽の入替え等、どれくらい確保できるかを考えているかの質問に対し、具体的な植栽計画等を示す段階ではないが、緑の在り方について区や道路管理者とも協議をしながら検討を進めていくとの事業者回答でした。

また、意見として、断面であるとか空間のイメージが捉えられるようなものを具体的に見せられるようになったら記載してほしい旨の意見がございました。

「その他」に関しては、「史跡・文化財」「温室効果ガス」「交通計画」「緑の活用」「仮設の熱源施設」について、それぞれ指摘、質問があり、それぞれ回答が事業者からありました。

資料の説明は以上です。

○齋藤部会長 ありがとうございます。

それでは、御説明いただきました前回の質疑応答について御意見や修正等がございましたらお願いしたいと思います。なお、発言される際には最初にお名前をお願いします。事業内容や評価書案に関する質問については、この後、事業者との質疑応答がございますので、そのときをお願いします。

皆さん、何か御意見、修正等ございますか。——特にないようですので、次に進めさせていただきます。

それでは、事業者の方から何か補足があるという話も伺っておりますが、何か補足がありましたらお願いします。

○事業者 資料の「景観」の2番に関して、少しだけ今の検討状況をお伝えさせていただければと思います。北側のほうです。

現状を想定しているものが評価書案の15ページから17ページに建物の断面図を載せてございます。こちらは建物全体を把握するための絵になっているのですが、もう少し建物と敷地境界の間のところを拡大か何かするような形で、例えば歩道はどういう形になっているのかとか、空地はどういうふうになっているのか、あるいは東館の東敷地側には一定の大きな

ボリュームの広場的な場所を確保する計画ですので、そちらの位置関係が分かるようなことをもう少し明記するように努めようと考えてございますので、補足させていただきます。

○齋藤部会長 どうもありがとうございました。

「景観」御担当の玄委員は本日はお休みですけれども、この件はもう伝わっているのでしょうか。

○下間アセスメント担当課長 この件については、今日欠席されている玄委員にこれからお伝えします。

○齋藤部会長 はい、分かりました。どうもありがとうございます。

それでは、残りの時間を使いまして事業者との質疑応答を行いたいと思います。

まず、欠席されている委員の方から何か事務局でコメントを預かっておられましたら説明をお願いします。

○下間アセスメント担当課長 事務局で、玄委員から2つのコメントを預かっております。

1つ目は質問です。環境影響評価書案の201ページで、2)予測に反映しなかった措置の第1項目として「計画建築物の高層部の建物形状の更なる工夫を図る。」とことが記載されておりますが、現段階の状況で結構なのですが、どのような工夫を考えているのでしょうかというのが事業者に対する質問です。

2つ目については意見です。本事業の計画地は赤坂通りに接し、赤坂駅（東京メトロ千代田線）と直結する立地であり、数多くの人利用が見込まれることにより、措置を徹底するとともに、事後調査において調査地点を適切に選定し、必要に応じて追加対策等、環境保全対策を検討していただきたい。特に事後調査地点の選定において、風環境予測時に含まれていない場所も考慮していただきたい。

以上のコメントを頂いております。

○齋藤部会長 それでは初めに、欠席の玄委員からの質問と意見がございました。事業者から御回答をお願いできればと思います。よろしく申し上げます。

○事業者 1つ目ですが、201ページです。こちらは「予測に反映しなかった措置」ということで、現段階で具体的な工夫の内容は今まだ設計中ですので、この場ではお伝えしかねるのですが、今後の設計の中でこういったことができそうかというところは引き続き検討してまいります。

前回の打合せの中でも説明させていただいたとおり、風洞実験を重ねていく中で一定の建物形状というのも工夫を凝らしてきておりますので、その中で極力、風環境をよくしていく

ということは、今段階でできることは、やっている状況になります。今後どのようなことが追加でできそうかというのは継続検討という形で触れさせていただければと思います。

1つ目は以上の回答になります。

2つ目は御意見ということでいただいております。赤坂駅と直結ですとか、交通も多いところで、事後調査の内容についても影響評価の内容を踏まえて適切に検討し、適切な事後調査計画を定めていきたいと思っております。

以上になります。

○齋藤部会長 どうもありがとうございました。

それでは次に、前回御欠席されました小林委員、何か御質問、御意見等がございましたら、伺いたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

○小林委員 概略は拝見させていただきまして、私の担当は「電波障害」ですけれども、特にコメントはございません。よろしくお願いいたします。

○齋藤部会長 どうもありがとうございました。

それでは、他の委員から御質問、御意見等を頂きたいと思っております。発言される際には、最初にお名前をお願いします。手を挙げる機能を使っていただいてもいいですし、直接御発言頂いても結構かと思っております。いかがでしょうか。

○森川委員 「大気汚染」ですけれども、予測に反映しなかった措置の中に「外装工事及び内装工事に伴う塗装工事の際にはVOC（揮発性有機化合物）の排出抑制に努める。」とございますが、この具体的な内容を教えていただけますか。

○事業者 今日工務担当が欠席になりますので詳細はお答えしかねるのですが、よく他事例などでもこういったところは意識して行っているということで、記載させていただいたような内容になっております。

○齋藤部会長 そうしますと、別途、事務局を通して御回答を頂ければと思います。

○事業者 はい。

○齋藤部会長 森川委員、いかがでしょうか。

○森川委員 はい、それで結構です。具体的にどういう方策を取っておられるかというのを教えていただければと思います。ありがとうございます。

○齋藤部会長 そのほかいかがでしょうか。

○柳会長 今回のこの計画ではヒートポンプをお使いになって、熱源施設で効率的なシステムを計画されているようですが、大体基本的には地下に設置することが多いのですけれども、

近年の集中豪雨等で地下関係がアウトになる可能性があるのですが、そういった防災との関連性といいますか、緊急事態との関連性をどのように配慮されて設置されるのか。せっかくこういった施設が稼働できないような状況にならないように工夫されるとよろしいと思うのですが、今のところはどのようなふうにお考えになっているのでしょうか。

○事業者 今画面共有させていただいている内容は計画している熱源計画でございまして、まさに今設計を行っているところですので、細かなところ、対応等が変更している可能性があるのですが、現在計画は、DHC は基本的に地下に設置する計画で、他事例、ほかの建物とかでは低層階、2階、3階にある事例もあるというふうには把握しています。設計の中で防潮板等々を設置するような形で、降雨時の水が入ってこないような計画は今詰めている段階ですので、そのようなことにならないような設計を検討していくように努めたいと思っています。

○柳会長 ありがとうございます。よろしく御検討をお願いします。

○齋藤部会長 そのほかいかがでしょうか。御質問、御意見等ございますでしょうか。

幾つか御意見を頂いていますけれども、項目に上がっている「大気汚染」「騒音・振動」「電波障害」それぞれの質疑は、し尽くしたと理解してよろしいですね。

特に御意見はないようですので、よろしければ、これにて事業者との質疑は終了したいと思います。どうもありがとうございました。

それでは、事業者の皆様方、ありがとうございました。本日はこれにて退出をお願いします。

(事業者退出)

○齋藤部会長 それでは、以上の議論を踏まえまして次回の総括審議へ向けた審議事項の候補を上げていきたいと考えてございます。委員の皆様から御提案をお願いしたいと思うのですが、まずは、御欠席されている委員の方から事務局でコメントを預かっておりましたらよろしくをお願いします。

○下間アセスメント担当課長 玄委員からのコメントを預かっております。「風環境」についてなのですが、「風環境」の2番、3番を総括審議に向けた項目候補として上げていただきたいとのコメントを頂いております。

○齋藤部会長 分かりました。「風環境」の2番、3番。「日影」「景観」等については御意見はなかったという理解でよろしいですね。

○下間アセスメント担当課長 はい、結構です。

○齋藤部会長 分かりました。ありがとうございます。

それでは、他の委員の皆様から御提案をお願いしたいと思うのですが、本日の資料1の順番をお願いしたいと思います。まずは「大気汚染」で森川委員、いかがでしょうか。

○森川委員 今回の建設時の、工事のときの二酸化窒素の予測は、かなり影響が大きいので、ここについては慎重にやっていただきたいということをお願いできればと思います。よろしくをお願いいたします。

○齋藤部会長 分かりました。ありがとうございます。

それでは、「騒音・振動」を担当されている高橋委員はいかがでしょう。

○高橋委員 「騒音・振動」の中では、2番目の、現況で環境基準を超えているところをわざわざ通すのはどうかという話を前回させていただいたのですが、この点に関しては総括審議に上げていただければと思います。

ただ、補足をさせていただきたいのですけれども、前は環境基準を超えているという視点だけで発言したのですが、赤坂通りは多少幅員が狭く、交通量の分散化を図るという視点もあるということを事業者の回答で頂いています。交通量の分散化というのも重要な視点だと思いますので、交通量の分散化も含めて考慮したうえでバランスを考えて検討していただければと思います。

○齋藤部会長 ありがとうございます。

項目に上がっております主たるものに関しては、今御意見を頂きました、このような状況でよろしいでしょうか。何か補足で御意見はございますか。——よろしければ、ただいま各委員から御提案のありました「大気汚染」の1番、それから「騒音・振動」の2番、そして「風環境」の2番と3番、以上4つを候補としたいと思います。各審議案件につきましては、部会長と各項目の委員と個別に相談していきたいと考えておりますが、最終案に向けては部会長に一任をお願いできればと考えております。よろしくをお願いいたします。

○齋藤部会長 最後に、「その他」になりますが、何か皆様ございますでしょうか。御意見、御質問等ありましたら。——特にないようですので、これをもちまして第一部会を終了したいと思います。皆様、どうもありがとうございました。傍聴人の方は退出ボタンを押して退出をお願いいたします。

(傍聴人退出)

(午前11時02分閉会)